

AFP資格更新の手続きについて

AFP認定者は入会年月から2年後の入会月末までの2年1カ月間を継続教育期間(1回更新後は2年間が継続教育期間)としており、その間に15単位の継続教育単位の取得が必要です。AFP資格更新手続きには単位の申請が必要です。単位の申請方法には、会員ホームページ『Myページ』での手続きと、ハガキによる継続教育単位取得申請書送付の2通りがあります。(FPジャーナル継続教育テスト等の単位が自動記録される場合については、単位申請は不要です)

継続教育単位 申請方法

『Myページ』からの手続き

継続教育単位を取得後、更新期限までに『Myページ』のクイックメニュー「単位申請」から申請してください。

※継続教育期間内、いつでも申請できます。



「継続教育単位取得申請書」の郵送による手続き

継続教育期限4カ月前にAFPで申請単位未達の方に「継続教育単位取得申請書」が送付されます。ご自身で取得単位をご記入のうえ、郵送にて申請してください。



更新手続き

更新期限後に申請された継続教育単位を協会を確認します

<p>申請内容に不備があった場合</p> <p>※書類未着・更新要件の不備や長期のご病気等の事態を考慮し、継続教育期間の終了日(更新期限)の2カ月後までは「不備解消期間」として更新手続きを行うことができます。</p>	<p>別途ご連絡いたしますので、所定の期限までに追加修正等をお願いいたします。</p>
<p>AFP 資格更新要件を満たしていると協会が確認した場合</p>	<p>特段の手続きを行うことなく、資格更新手続きが完了します。</p> <p>※更新期限までに、更新手続きが完了した場合には、更新期限の翌月末頃、新しいAFPライセンスカードを発送します。</p>

資格更新にあたって、
単位取得証明書類のご提出を依頼する場合があります

(FPジャーナル継続教育テスト等の単位が自動記録される場合を除く)

円滑で適正な資格更新手続きのために、毎月の更新者の中から、ランダム抽出した一部の方に、資格更新にあたり、**単位取得証明書類のご提出**をお願いしております。ご提出の対象となった方は、『Myページ』からの単位申請だけでは資格更新手続きが完了しません。また、単位取得証明書類をご提出いただけなかった場合は、資格更新ができない場合があります。

単位取得証明書類は
単位取得日から
3年間保管して
ください。



資格更新手続きをしない場合

AFP資格は失効し、**一般会員に移行**となります。年会費は一般会員として、これまでどおり発生します。CFP® 資格審査試験課目合格はすべて失効となります。

一般会員移行後、再認定要件を満たし、手続きをすることで、AFP資格の再認定が可能です(詳細は「PART7 AFP再認定について」をご参照ください)。

※AFP資格が再認定となった場合でも、一度失効したCFP®資格審査試験合格の履歴(各単課目の合格含む)は復活しません。

退会される場合

所定の退会届の提出が必要です。

単位申請が必要／不必要な継続教育研修

申請が必要

以下の項目は、ご自身で単位の申請を行ってください。

- 認定教育機関主催の継続教育研修(承認番号あり)
- スタディ・グループ(SG)における勉強会
- 承認番号のない講座・研修
- FPとして行った講師活動
- FPとして行った執筆活動

SG・講師・執筆は
有効単位数の上限が
あります。
(AFP認定者7.5単位まで)
※CFP®認定者は15単位まで

申請が不要

以下の項目はすべて自動記録されます。

- FPジャーナル継続教育テスト
- FP実務と倫理テスト
- ブロック・支部主催のセミナー
- FPフェアのエデュケーショナル・セッション等
- CFP®資格審査試験の合格
- CFP®エントリー研修の受講・修了
- その他単位が協会に自動記録される研修



AFP資格継続教育単位取得のモデルケース

どのように単位を取得すればよいのか、またそれにかかる費用の例をAFP認定者2人のモデルでご紹介します。



インターネットと土日を使って取得!

山田 太郎さん A生命保険会社勤務

FP資格は仕事に必要なので取得しました。
平日は朝早くから夜遅くまで仕事で、土日は休みです。

金融機関にお勤めで平日時間を取るのが難しいため、日本FP協会のFPジャーナル継続教育テストをインターネットから受験、土曜日や日曜日に行われる認定教育機関のセミナーから自身で興味のあるテーマのものを選んで参加、日本FP協会支部主催のセミナーにも参加して単位を取得しました。また、会社で行われた研修も継続教育に該当することから効率的に単位取得ができました。

受講日	継続教育の内容(セミナー等)	主催団体	課目	取得単位	受講費用
2014/6/15	●『FPジャーナル6月号』の継続教育テストをインターネット受験	日本FP協会	全課目	3単位	900円
2014/10/10	●どう変わる年金制度	〇〇FPセミナー	ライフ	3単位	5,000円
2015/12/20	●『FPジャーナル12月号』の継続教育テストをインターネット受験	日本FP協会	全課目	3単位	900円
2015/1/14	●確定拠出年金の制度概要	A生命保険会社	ライフ	5単位	0円
2015/1/28	●埼玉支部研修「金融マーケットの読み方」	日本FP協会埼玉支部	金融	3単位	3,000円
合計				17単位	9,800円



平日の就業後とFPフェアで取得!

鈴木 花子さん 広告代理店勤務

FP資格は仕事に必要なので取得しました。
平日は朝早くから夜遅くまで仕事で、土日は休みです。

仕事が休みで時間に余裕があるときは、スタディ・グループに参加してFP知識の吸収と情報収集をすることにしました。スタディ・グループは勉強会の内容によって継続教育に該当します。また、年に1度行われるFPフェアに参加しエデュケーショナル・セッションを受講、全国の会員とも交流を図り同時に単位も取得しました。東京支部の研修会にも参加してここでも会員交流を図りながら単位を取得しました。

受講日	継続教育の内容(セミナー等)	主催団体	課目	取得単位	受講費用
2014/5/9	●平成26年度税制改正の概要	〇〇FP研修所	タックス	3単位	3,000円
2014/8/10	●スタディ・グループ「証券仲介制度の概要」	SG〇〇〇	金融	1.5単位	実費
2014/9/27・28	●FPフェア2014参加(金融経済教育とFPの役割／日本経済の新局面と証券市場／NISAの現状と今後の展望／マイホームの有効活用)	日本FP協会	金融・不動産・FP実務と倫理	6単位	19,000円
2015/8/21	●スタディ・グループ「長期投資の考え方」	SG〇〇〇	金融	1.5単位	実費
2015/12/16	●東京支部研修「FPのための確定申告知識」	日本FP協会 東京支部	タックス	3単位	3,000円
合計				15単位	25,000円 実費を除く